

国内初、 新幹線への再生可能エネルギー由来電力導入

JR西日本は、中国電力株式会社（以下、中国電力）と当社専用の太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギー由来電力（以下、再エネ電力）の供給を受けるオフサイトPPA[※]を本日締結しました。これにより、2027年度末までに当社が運行する新幹線の列車運転用電力全体の約10%を再エネ電力化することになります。

当社グループは、環境長期目標「JR西日本グループ ゼロカーボン2050」を策定し、2050年にJR西日本グループ全体のCO₂排出量「実質ゼロ」をめざしています。本件は、その目標達成に向けた取り組みの一つです。

今後も、環境長期目標達成に向け、様々な取り組みを進めてまいります。

※PPA：Power Purchase Agreement（電力購入契約）の略称

1. 供給対象場所

岡山県、広島県、山口県の新幹線用変電所

2. 再エネ電力導入量

当社が運行する新幹線の列車運転用電力全体の約10%

3. CO₂排出削減量

2027年度末時点で、年間約61,000 t[※]（約2万世帯分）のCO₂排出量が削減される予定です。

※2021年度の電気事業者別排出係数の全国平均で算出

4. 供給開始時期等

2023年7月より順次開発、供給が開始され、段階的に拡大、2027年度末までに当社の新幹線運転用電力の10%規模となる予定です。



今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に7番、11番、13番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

